

総務社会委員会

●議案第40号 財産の取得について

白馬ジャンプ競技場にウインチ搭載型圧雪車1台、スノーハープにトラックスエッター搭載型圧雪車1台を購入するもの。

問 以前の圧雪車は下取りになるのか。

答 1995年式で20年使用しており、2台で160万円の下取り。

▽委員全員の賛成により、可決すべきものと決定。

●議案第41号 介護保険に関する事務の事務受託の変更について

介護保険法の改正により、地域支援事業が拡充。統一的に取り組む事務は広域連合で実施できるように規約の変更をおこなうもの。

▽委員全員の賛成により、可決すべきものと決定。

●議案第42号 白馬村議会の議決すべき事件に関する条例の制定について

地方自治法の改正により、自治体の基本構想の議決義務がなくなつたが、市町村の判断で基

本構想を議決事件と定めることができるため条例制定をするもの。

▽委員全員の賛成により、可決すべきものと決定。

●議案第43号 白馬村休日保育及び一時保育の実施に関する条例の制定について

実施要綱により実施しているが、改めて条例として整備するもの。

▽委員全員の賛成により、可決すべきものと決定。

●議案第44号 ふるさと白馬村を応援する条例の一部を改正する条例について

ふるさと白馬村を応援する基金の事業区分に、白馬高校の魅力化、国際化と存続に関する事業を加えるもの。

▽委員全員の賛成により、可決すべきものと決定。

●議案第45号 平成27年度白馬村一般会計補正予算(第1号)所管事項について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億6千34万6千円を追加し、予算総額を歳入歳出予算それぞれ70億4千234万6千円とするもの。
総務課関係では、

*コミュニティ推進事業に250万円の増額。
塩島区の事業採択による増

額で、宝くじ収益金の補助。

*ふるさと納税事業に2千280万8千円の増額。

ふるさと納税報償費に2千万円。他にクレジット決済手数料や印刷製本費。

*白馬高校支援事業に1千103万3千円の増額。

公営塾と地域おこし協力隊の経費や、全国募集のための寮の不動産鑑定料、高校PR等の動画制作等の経費。高校PR番組は県の元気づくり事業補助金による。

*電算事業に582万1千円の増額。

マイナンバー制度交付金によるシステム改修経費。システム構築は広域連合が行い、白馬村は負担金を払う。

*災害救助経費に374万6千円の増額。

宅地地盤調査委託料と雪解け以降に半壊以上に認定された方への見舞金。

問 塩島区の事業は何か、また総額は。

答 山車の購入費に378万円。

問 白馬高校を別会計にする予定は。

答 以前から指摘があり県に照会している。当面は一般会計内で行う。

問 「将来を考える会」が一度も開かれていないのに、なぜ、予算があがるのか。

答 運営について話をしているが、予算のところは詰めていない。陳謝します。

問 マイナンバーのセキュリティについての指導は。

答 検討会議は昨年からの開いている。国とのラインにファイヤーウォールを入れることを検討し、今回の補正に計上

問 ふるさと納税報償費は、なぜ当初予算にあげなかったのか。

答 当初予算で寄付金を1千万円と見込んだが、すで

に2千万円を超えており、今後5千万円になると見込み計上。

税務課関係では、

*4月の人事異動による調整額のみ。

住民課関係では、

*環境衛生費に65万2千円の増額。

震災対応で花園地区の簡易水道修繕費が主なもの。

教育委員会関係では、

*白馬ジャンプ競技場維持管理事業に535万7千円の増額。

リフトの降り場にある制御ユニット油圧制御のオーパーホールなど。財源は県



被災地の地盤調査がスタート